

日本社会分析学会ニューズレター

2019年3号 [2019年9月19日発行]

発行：日本社会分析学会事務局

〒753-8511 山口市吉田1677-1

山口大学人文学部 桑畑研究室内

編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)

Tel: 083-933-5242 (研究室直通)

E-mail: sasa@jsasa.org

ホームページ: <http://jsasa.org/>

郵便振替口座: 01740-0-49579

(名義) 日本社会分析学会

●研究例会の報告と予定

1. 第137回例会(2019年7月27-28日、熊本大学)は盛会に終わりました。ご参集いただいた皆さまに感謝申し上げます。
2. 次回、**第138回例会は、2019年12月14日(土)-15日(日)鹿児島女子短期大学**(鹿児島県鹿児島市)にて開催します。詳細はプログラムとともに次号ニュースでご案内します。本紙の関連情報にご注意ください。

●第138回例会【研究報告】募集

次回例会で研究報告をご希望の方は、**報告者名、報告タイトル、報告時間を11月5日(火)必着で事務局まで**、お知らせください(郵送または電子メール)。

報告時間は以下のいずれかを選んでください(指定がなければSとします)。

S: 持ち時間 30分(標準は報告20分+質疑応答10分)

L: 持ち時間 60分(標準は報告30分+質疑応答30分)

また、使用予定の機器を報告申込み時にお知らせください。

●『社会分析』47号【論文】募集中

◎一般投稿論文は、**原稿〆切10月1日**で募集中です。送付先は下記です。

原稿提出期限：**2019年10月1日(火) 郵送必着**

原稿送付先：**学会事務局**(封筒に「一般投稿論文」と明記のこと)

※投稿時には、原稿等の電子ファイルが入ったメディアを送付記録が残る方法でお送りください(メディアの返送をご希望の方はその旨明記ください)。

◎特集論文については一般投稿の募集はしていません。

『社会分析』へ論文を投稿される方へ

1. 投稿に際しては、『社会分析』表紙裏の「**投稿規定(2019年改正版)**」を遵守してください。
2. 英語で書かれた論文を投稿される場合には、必ず英語を母語とする方のチェックを受けたいうえで、ご投稿下さい。英文タイトルについても、同様のチェックをお願いします。
3. 日本語を母語としない執筆者が日本語で投稿する場合には、必ず日本語を母語とする方のチェックを受けたいうえで、ご投稿下さい。日本語タイトルについても、同様のチェックをお願いします。
4. 内容水準以前の形式的な点が守られていない原稿については、受理を保留して差し戻すことがあります。また、差し戻しに対して投稿者から迅速かつ適切な対応がなされない場合には、受理できない場合があります。

論文審査について

投稿された論文はすべて審査者2名による論文審査にかかります。審査者は編集委員ないし会員の中から適当な方をお願いします。編集委員長・特集担当者から依頼が参りますので、よろしくお願ひ致します。審査と改訂はそれぞれ2回までを原則とし、年明け1月末までに編集を終えるべく、おおよそ以下のような日程で動きます。

初回審査(審査員)	4週間以内
→初回改訂(執筆者)	4週間以内
→第2回審査(審査員)	2週間以内
→第2回改訂(執筆者)	2週間以内
→最終的な掲載可否判断(編集委員会、特集担当者)	

審査者には審査論文とともに「論文審査票」をお送りしますので、それにしたがってできるだけ迅速にご協力ください。なお審査に当たっては、投稿者をエンカレッジする姿勢でお願い致します。立場や見解の違いは(アドバイスになるようなものは別として)、基本的には論文公開後の論争として展開いただき、審査においては「論文」としての完成度を高めることに主眼をおいていただきますよう、お願い致します。

〈書式統一へのご協力を〉

雑誌の書式統一のため、投稿者・査読者には以下の点で協力をお願いします。

- ◆ 投稿者は、投稿規定を遵守すること。(必ず『社会学評論スタイルガイド』をご参照ください。)
- ◆ 査読者は、投稿規定に準じた形式面のチェックも十分に行うこと。
- ◆ 投稿者は初回投稿時、原稿ファイルとともに執筆者情報の電子ファイルを提出すること。
- ◆ 最終的には編集委員会で行うので、最終稿の印字イメージと出来上がりイメージが異なることがある。この点をご了承いただきたいこと。

●2019年総会報告（2019年7月27日、熊本大学）

◎報告事項

(1) 庶務報告

- ・会員数 160 名（前年度 165 名）
（購読会員 1 名、購読機関 31 件〔前年度 35 件〕）
- ・活動状況
 - 例会 2018 年 7 月 28・29 日 第 135 回例会（山口県セミナーパーク（山口大学））
2018 年 12 月 22・23 日 第 136 回例会（福岡県立大学）
 - 理事会 2018 年 7 月 28 日（山口県セミナーパーク（山口大学））
 - ニュース 4 回発行
- ・今後とも学会活動の活性化のためにシンポジウム・講演等の企画を積極的にご提案いただきたい。

(2) 編集報告

- ・『社会分析』46 号を 2019 年 3 月 31 日付で発行。
特集：「人口減少時代の地域社会とエスニシティ」：高畑幸会員に企画・編集をお願いし、解題および 4 本の論文を掲載。
一般投稿：論文 7 本の投稿があり、審査の結果、論文 2 本の掲載。
書評：会員著作の書評 4 本を掲載した。
- ・『社会分析』47 号（2020 年 3 月発行予定）について。
特集「承認の構造変動」：大畠啓会員に企画・編集をお願いした。一般応募なし。
一般投稿：原稿提出期限 10 月 1 日（提出先：学会事務局）。
書評：対象書籍の推薦（自薦・他薦）、提出期限 8 月 31 日（提出先：学会事務局）。

●議事

(1) 下記の新入会員を承認

大戸朋子、堤圭史郎、泉賢祐、林紀歩、小川千晶、周萃、黄師佩

(2) 2018 年度決算（含、監査報告）を承認【会計資料を参照】

(3) 2019 年度予算案を承認【会計資料を参照】

(4) 役員選挙の結果

総会の役員選挙で下記のとおり新役員が決まりました（〔〕内は票数）。

役員名	当選	次点・次次点
会長	三隅一人[20]	山下亜紀子[3]
理事	高野和良[27]編集委員長 加来和典[23]研究(出版企画)担当 稲月正[21]研究(出版企画)担当 山本努[20] 徳野貞雄[12] 速水聖子[12]副編集委員長	山下亜紀子[20] (同一機関規定により次点) 牧野厚史[11] 辻正二[7]
監査	山下亜紀子[26] 牧野厚史[12]	益田仁[8] 辻正二[6]
事務局	事務局長: 桑畑洋一郎	

(5) その他

- ・篠原隆弘先生の名誉会員への推挙について承認された。
- ・ニューズレターのメール配信への順次移行を検討。本号より紙媒体とメール媒体の平行体制をしばらくとった上で、メール配信を希望する会員についてはメールへの移行を予定。

◎会計資料

2018年度決算報告

	項目	予算(円)	決算(円)	備考
収入の部	学会費	750,000	655,000	会費 131 件
	購読料	73,500	102,900	49 件 (前号の振り込みがあったため)
	利子、その他	100	23	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	823,600	757,923	
	前年度繰越金	4,070,311	4,070,311	
	総計	4,893,911	4,828,234	
支出の部	雑誌印刷費	400,000	427,680	46 号 220 部 (抜刷含む)
	編集費	60,000	62,884	編集担当者経費、特集謝金、書評対象書籍代
	通信費	90,000	158,870	ニューズレター・機関誌郵送代
	事務局費	40,000	26,665	事務アルバイト費用、振込手数料
	事務委託費	90,000	70,200	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	86,986	例会開催費、理事会費 (第 135 回例会開催費については共催の山口地域社会学会より 30,635 円の補助。例会会計で収入として処理)
	企画事業費	30,000	0	
	予備費	100,000	96,964	社会福祉系学会連合会費、封筒印刷費用、名簿印刷費用
	本年度支出合計	890,000	930,249	172,326 円赤字
	次年度繰越金	4,003,911	3,897,985	
	総計	4,893,911	4,828,234	

※収入・支出とも 2019 年 6 月 28 日締。

2019年度予算案

	項目	予算(円)	備考
収入の部	学会費	750,000	会費 150 件
	購読料	67,200	32 件
	利子、その他	25	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	817,225	
	前年度繰越金	3,897,985	
	総計	4,715,210	
支出の部	雑誌印刷費	430,000	47 号 220 部 (抜刷含む)
	編集費	60,000	編集担当者経費、特集謝金、書評対象書籍代
	通信費	120,000	ニューズレター・機関誌郵送代
	事務局費	40,000	事務アルバイト費用、振込手数料
	事務委託費	90,000	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	例会開催費、理事会費
	企画事業費	30,000	シンポジウム経費、講演謝礼等
	予備費	40,000	社会学系コンソーシアム会費 (2 年分)、社会福祉系学会連合会費
	本年度支出合計	890,000	
	次年度繰越金	3,825,210	
総計	4,715,210		

※事務局からのお願い

ニューズレターをメール配信する形へ順次移行しようと考えています。つきましては、「紙は不要でメール配信のみで良い」という方は、お手数ですがその旨事務局 sasa@jsasa.org までご連絡ください。